

個人事業収入報告
SELF-EMPLOYMENT INCOME REPORT
活字で記入してください。

		1. あなたの氏名		
個人情報	2. 商号	3. 事例番号		
	3. 事業所在地	5. 収入報告 (日付) 開始日 終了日		
事業収入	1. 事業総収入	\$	DSHS OFFICE USE ONLY	
	2. 他の事業収入 (要特定)	\$		
	3. 事業総利益 (上記の 1 列と 2 列の合計)	合計 \$		
営業費	1. 販売された製品のコスト (裏面の製品コスト項を記入し、その 8 列の額を記入する)	\$		
	2. 運送費 (裏面の運送費項を記入し、その 8 列の額を記入する)	\$		
	3. 製品コスト項に含まれていない従業員給与の総額(控除前の給与を記入する。事業主、配偶者および事業主が援助している者は記入しない。)	\$		
	4. エージェントへのコミッションとその他の専門家への支払い(公認会計士、法務顧問、セールスパーソンなど)	\$		
	5. 従業員用の税支払い (従業員の失業保険、FICA (ソーシャルセキュリティなど)への貢献の総額を記入する)	\$		
	6. 事業税 (事業関連の税金、ライセンス費などの合計を記入する。)	\$		
	7. 事業所在地費用	\$		
	a. オフィスの賃金	\$		
	b. 電話	\$		
	c. 公共料金	\$		
	d. 税(所在地を購入した場合)	\$		
	8. 事業所在地への修復費 (ただし、乗物への修復は含まない; 行われた作業を特定する)	\$		
	9. 事業保険 (自動車保険は含まない)	\$		
	10. 事業用具 (文房具、郵送費、アカウント帳など; アイテムを特定する)	\$		
11. 事業負債の利子 (負債の元金への支払いは入力しない)	\$			
12. 他の事業費 (要特定):	\$			
a. _____	\$			
b. _____	\$			
c. _____	\$			
13. 控除総額 (本項の 1 から 12 列の合計)	\$			
14. 総収入 (13 列から上記の事業セクションの 3 列を差し引く; その額をここに記入する)	\$			

製品コスト	1. 月初めの在庫 (先月末の在庫と異なる場合、理由を説明する-ドルだての額を記入する)		\$	DSHS OFFICE USE ONLY	
	2. 製品製造に必要な材料のコスト (材料を特定する)		\$		
	3. 製品を製造しない場合の製品コスト		\$		
	4. 製品を製造する従業員の(控除前の)給与配偶者および事業主が援助している者は記入しない		\$		
	5. 他の製品関連コスト (下記に特定する)		\$		
	a. _____		\$		
	b. _____		\$		
	c. _____		\$		
	6. 製品コスト総額 (上記の 1 から 5 列の合計)		\$		
7. 月末の在庫 (ドルだてで記入)		\$			
8. 製品コスト (上記の 7 列から 6 列を差し引く。ここと、本書の反対側の事業費項の 1 列に記入する)		\$			
輸送費	1. 事業中に運転したマイルの距離				
	2. 今月に運転したマイルの距離の合計 (事業中・個人用双方)				
	3. 事業用の運転した距離と運転した距離の合計の割合 (上記の 1 列を 2 列で割る。値は小数であるべきである。)				
	4. 今月の乗物への保全または修復費		\$		
	5. 今月支払った登録日とライセンス費		\$		
	6. 今月支払った乗物ローンの利子		\$		
	次のうち一つを選択する	<input type="checkbox"/> ガソリン、オイルそして液体費を一マイル毎に\$0.55 として計算し控除したい。 2 列のマイル数を\$0.485 で掛ける。額を記入する。			\$
		<input type="checkbox"/> 次の費用の簡条書きを望む：			\$
ガソリン		\$			
オイル		\$			
液体		\$			
7. 今月の運送費の総額。上記の 4 列から 6 列の合計を入力する。		\$			
8. 上記の 7 列の数字を 3 列の数字と掛ける。ここと、本書の反対側の事業費項の 2 列に記入する		\$			
次の表明が適用するか確認する		最終勤務日	収入期日	金額	
<input type="checkbox"/> 個人事業を辞めました。				\$	
報告を提出する前に、下記を詳しく読み、署名する。					
1. 私は主張した収入と控除を検証する必要性を理解している。私は、本機関による収入情報の確認に必要な資料を他人または組織から取得するのを許可する。					
2. 私は、本報告書に記入された情報により、補助金の削減、停止または廃止に繋がる可能性があることを理解している。					
3. 私は、偽証罪のもと、本書に記入されている情報が、私の知り得る限りにおいて、真実であり、正確であることを宣言する。(同居している場合、夫婦揃っての記入が必要である。)					
あなたの署名		日付	配偶者の署名	日付	